

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [語り部スキル](#) | [つながりづくりのガイダンス \(2\)](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

つながりづくりのガイダンス (2)

「つながり」とは、相手を大事にすること

理解のカギ: 「尊重されている」と相手に思ってもらえるとき、「つながり」が始まる

1対1の場合

1対1の状況で「つながり」をつくるには、相手に「私は尊重されている」と感じてもらうことだ。そのために、次に挙げるコツを意識していただきたい。

- ・一緒にいる相手の話をきちんと聞き、何を大切にしているか理解する
- ・相手が大切にしているものに関する問いかけをして、大切にしている理由を理解する
- ・相手の価値観に近い自分の考えについて語る
- ・共通の価値観を基盤に、人間関係を築く

こうした方法で、自分と相手、双方の価値を新たに引き出していこう

集団の中にいる場合

集団やチームのメンバーに、「私は尊重されている」と思ってもらえる方法は、参加を促すことだ。集団の中にとっても賢い人物がひとりいたとしても、集団全体の知性には絶対になれない。意見を交わす集団の中で人と「つながり」をつくるには、次に挙げるコツを意識しよう。

- ・メンバーそれぞれの長所を探し、明らかにする
- ・それぞれの長所や、果たしている（これから果たす）貢献の価値を評価する
- ・意見を求める。それぞれが得意分野で力を発揮できるようにする

講演をする場合

壇上に立つ人間が「つながり」づくりに失敗する理由のひとつは、「自分のほうが、自分の伝えたいことのほうが、聞き手の存在よりも大事だ」と思っている印象を与えるからだ。

そんな態度は講演者と聴衆のあいだに壁をつくる。

そうならないように、次に挙げるコツを参考にして、あなたが聴衆のことを大事に思っていると伝えよう。

- ・できるだけ早いタイミングで、集まってくれた聴衆に感謝し、「このような機会をいただけて嬉しく思っている」と伝える
- ・オリジナルのコンテンツを用意したり、今日のために準備してきたと伝えるなど、「あなたのための特別なこと」をする
- ・聴衆の全員を「100点満点の存在」と見て、きっと素晴らしい反応をしてくれると信じる
- ・話し終わったら、「講演ができて楽しかった」と伝える

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.